



萩市須佐地域

公民館だより

令和7年

8月

第625号

須佐地域生涯学習推進
マスコット「まな坊」

※題字は昭和48年発行第1号時のもの

**集おう！学ぼう！
手をつなごう！**

発行/須佐公民館 〒759-3411 萩市大字須佐4570-1 ☎08387-6-2310 FAX08387-6-2030
弥富公民館 〒759-3302 萩市大字弥富下4043 ☎08387-8-2044 FAX08387-8-2212
特定非営利活動法人 須佐元気なまちづくりネット

大自然の中で川遊び！

水辺の教室：鈴野川



川エビを取るおじいちゃんと孫

《今月の話題》

- さあ、夏休み！川遊びで楽しむ子ども達・・・2P
- 須佐地区真夏のポッチャ大会！・・・2P
- 生涯学習発表会に個性あふれる作品展・・・3P
- 生き生き教室「つどい会」
月1回のお楽しみはモルックで・・・4P
- 公民館奮闘記：続豪雨水害・・・7P
- お知らせ：あいさつ標語募集等・・・10P



飛び込むよ、ソレー！

暑い、熱い、夏休みはじまる…

川遊びで子ども達大はしゃぎ!



水辺の生き物ふれあい会(表紙)

7月21日(月)、弥富地区・須佐地区の子ども会と弥富放課後子ども教室共催で、田万川漁業協同組合の皆さんのご協力をいただき、水辺の生き物ふれあい会を開催しました。

子ども達はこの日をとっても楽しみにしていたようで、須佐・弥富両地区から多くの皆さんに参加していただきました。

開会のあいさつの後、子ども達には田万川漁業協同組合から今シーズン、田万川河川において、鮎ややまめ、ウナギなどを捕ることが出来る遊漁証のプレゼントがありました。



川ではしゃいで遊ぶ子ども達

早速、子ども達は川の中に入り、いろいろな生き物を捕まえたり、堰(せき)から淵に飛び込んでみたりと自然を満喫していました。特に最近、川で遊ぶ機会も少ないようので、子ども達は、とても新鮮な体験となったようです。

また、鮎のつかみ取り体験も行いました。囲った浅瀬に放流した鮎を

子ども達が網や素手で追いかけて上手に鮎を捕まえていました。捕まえた鮎はその場で塩焼きにして美味しくいただきました。



美味しそうに鮎を食べる子ども達

た。自分たちで捕まえた鮎の味は格別だったようで、みんな美味しそうに食べていました。

親子で自然を満喫でき、子ども達にとって貴重な体験ができた一日となりました。

ボッチャで世代間交流

第3回須佐地区ボッチャ大会

7月20日(日)、須佐公民館にてスポーツ振興会行事「須佐ボッチャ大会」が開催されました。小さい子どもから高齢者まで幅広い世代、10チームの参加があり、会場は終始にぎやかな声と笑顔に包まれました。

ボッチャは、パラリンピックの正式種目にも採用されているスポーツで、年齢や体力に関係なく誰もが真剣勝負を楽しめる点が魅力です。

今回の大会は、予選を要則リーグ戦形式で実施し、各ブロック上位3チームによるトーナメント戦で決勝が行われました。

優勝決定戦は、ボッチャ経験者が多いチーム「2ブロック」と中学生女子チーム「たこやきガールズ」による対戦。若さと勢いのある「たこやきガールズ」の健闘も光りましたが、大人げなく「2ブロック」が実力を見せつけて優勝を勝ち取りました。3位には、粘り強く戦ったチーム「スポーツ振興会」が入りました。今回の大会を通じて、世代を超えた交流や笑顔が多く生まれたことを大変うれしく思います。今後も地域のつながりを深め、誰もが気軽に楽しめる場をつくってまいります。

【ボッチャ大会結果】



3 位 スポーツ振興会



準優勝 たこやきガールズ



優 勝 2ブロック

第34回生涯学習発表会 作品展開催!

毎年恒例の生涯学習発表会。今年は、6月21日(土)から23日(月)の3日間開催し、須佐公民館の1階多目的室とロビーで、日頃、公民館などで活動をされておられる皆さんの作品を展示していただきました。

今年も文化発表は中止となりましたが、この日のために準備していただいた団体や個人の作品約260点もの作品が展示され、来場者の目を楽しませていました。

作品は、絵画やちぎり絵、写真、書、文芸、絵手紙、色鉛筆画、陶芸、手芸、パッチワーク、エコクラフト、編み物などです。

ジャンルは少ないものの、今年は、パッと目を引くような作品がいくつかありましたので紹介します。

一つは村岡万子さん(上三原)の日本画です。大蓮寺に並んでいる6体のお地藏さんを展示ギリギリで間に合わせ、これまで1体とか2体だけが展示されたこともありましたが、ようやく6体全部のおじょうさんを4枚の額に描き上げ、皆さんに披露することができました。本人も大変喜んでおられました。

また、久しぶりに出品された、平田節生(北谷)さんの般若心経の書



6体そろって素晴らしいですね…

村岡万子さんの作品「門前に立つ」



平田さんの書を見ながら般若心経を唱える参加者

は半切という大きさの半紙8枚に全文を書かれ、展示するととても見ごたえあり、ひととき来場者の目に止まっていたようでした。

今年も、出品者の皆様のおかげで、生涯学習発表会を続けて開催できることができました。この発表会は、地域の皆様がつくっていく発表会です。来年度も多くの方から、いろんな作品を出品して下さることを期待しています。よろしくお願いします。



「日なたぽっこ」…色えんぴつ画
松野喜代子(本町中)



「クラフト帽子」
弥重南椰子(河原丁)



「花器」
伊藤正久(中畑)

作品の紹介



生き活き教室（表紙）

モルックに初挑戦！

つどい会

7月2日（水）の昼食作りは、鯖と大葉の混ぜご飯・わかめのお吸い物・茶碗蒸し・きゅうりとわかめの和え物を作りました。今回は、パパッと作れるものが多く、皆さんサクサクと作ってくださいました。気温が高くて食が進みにくく、食欲も落ちがちですが、大葉のさわやかな香りと焼きサバの香ばしい香りが食欲をそそり、皆さん箸が進んでいました。



美味しそうに出来ました

午後は、今話題の「モルック」を楽しみました。モルックはフィンランド発祥のスポーツで、モルックという木の棒をスキットルという得点の書かれている棒で倒し、合計得点をぴったりにするゲームです。

モルックは初めてする人が多く、「よくわからん」「投げればいいの?」と戸惑いながらゲームに参加していましたが、回数を重ねるうちにモルックに慣れてきたようで、遠慮がちにモルックを投げていたのが、どんどん

ん威力を増し、勢いよくスキットルを倒すようになっていきました。モルックに慣れた後は、3人1チームで4チームに分かれ2チームずつ試合をしました。



「それっ!」何点取れたかな...

モルックの面白いところは、1本倒すとスキットルに書いてある点が、複数倒すと倒した本数が得点になるところで、最後50点を超えてしまうと25点からやり直さなければいけません。1試合目のチームはピツタリ50点で終わっていましたが、2試合目のチームは、どちらのチームも50点を何度も超えてしまい、一投一投歓声が上がると熱い試合となりました。

決勝戦では、お互い僅差で試合を進め、50点超えることなくゲームセットとなりました。「楽しかったね」「またやりたいね」と、皆さんモルックにしっかりはまったようでした。

公民館学級

うそ電話詐欺の手口とは...

弥富さつき学級

7月11日（金）弥富交流促進センターで、第2回目のさつき学級を開催し、29名の参加がありました。

今回は、弥富駐在所の袈裟丸篤史所長をお招きし、「うそ電話詐欺被害防止について」お話を伺いました。

「うそ電話詐欺の手口」と被害防止のポイントとは...

☆預貯金詐欺（キャッシュカードの交換をすすめる、暗証番号を聞き出し、電話中に家に受け取りに来る）：相手が本物か確認する、家族・警察へ相談するなど。☆還付金詐欺（市役所職員等をかたる者から電話があり、ATMから犯人の口座へ振込手続きをさせるもの）：ATMで還付金の手続きを行うことは絶対にない。携帯電話で通話をしながらATMを操作している人を見かけたら、詐欺被害を疑う。☆架空請求詐欺（パソコンのウイルス除去・修復名目、有料サイト未納料金目等、県内のうそ電話詐欺被害で一番多い手口！不審電話も多数認知！）：指示に従わず、連絡先に電話をかけない。身に覚えのないメールを開封しない。電子マネーの番号を開き出すのは詐欺犯人。



電子マネーの番号を伝えない、入力しない、写真を送らない！など、丁寧に説明をしていただきました。

その他、国際電話を利用したうそ電話詐欺が急増しているそうで、「固定電話、ひかり電話は、国際電話利用契約を休止することができるので、被害防止のため、手続きを希望される方は、警察署でも申し込み用紙を用意しております!」とお話をされました。

質問コーナーでは、「消防署から電話があったが、ようわからんから切った」と相談をされた方がおられ、「切った後も、電気保安協会や国税局からも電話がかかってきたが、本物かどうかかわからんから不安だ」とお話をされました。袈裟丸さんも初めて聞く事案だというので、「不安に思われたら、直ぐに親しい方に相談するか、警察へ連絡してください」と締めくくられました。皆さんも、興味深い話を聞くことができ、今まで以上に気を付けられることと思います。



真剣に話を聞く参加者

子育て支援日記

テーマ／おじいちゃん、おばあちゃんの知恵袋

「夏の思い出」

須佐保育園園長 山中 忍

今年には戦後80年になります。戦争を知らない「戦後世代」の私ですが、小学生のころ、学校で戦争体験の話聞く授業がありました。お話にきくでくださったのが、同級生のおじいちゃんだったことに驚き、身近に戦争をはじめて感じた時でした。

私の祖父も従軍経験があったようですが、他界していて、自分の家族から直接に戦争体験を聞くことはありませんでした。あつたとしてもどんな話をしてくれたのか、祖父のつらい心の内を明かさせることになったかもしれない。その代わりではないけれど、時折父の子ども時代の話を聞きます。

私の父は89歳です。戦時中は祖母と伯母の3人で暮らしていました。祖父が戦争から帰ってきてから、5人兄弟になりました。家族の大黒柱だった「お父さん」が戦争に行つて大変苦労した子ども時代のことや、戦後の復興期の生活の様子を聞くごとに、今の時代に生きることができ

て良かった、幸せだなと感じます。

小さいころ、お盆には必ず祖母の家に親戚が集まり楽しい時間を過ごしていました。お盆の13日の夕方と16日の早朝には、みんなで山の上の墓所まで行きました。叔父や叔母が「のどが渇くね、たくさん飲んでね」と言いながら墓石にお水をかけたり、お花やお水を取り替えたりする様子を見ながら、私は寄つてくる蚊と格闘していました。

それが終わるとやつと出番です。お線香をもらつて親類だけでなく縁者のお墓にも手向けるよう言われていました。「この人はおじいちゃんのお母さん」、「この人はおばあちゃんのお母さん」と父の言葉を聞きながら、真似をしてお線香を手向け、自分の先祖や家族の成り立ちに関心を持ち、家族や親族のつながり



を感じたような気がします。その中にひととき目立つ墓石があり、父に尋ねると戦争で亡くなった方のものでした。小学生の私は目に見える形にしか関心が持てなかったのですが、今はその墓石に込められた家族の思いにも共感できるようになりました。

小学校の夏休みの間は両親が仕事のため、日中は祖母の家でほとんどを過ごしていました。祖母は優しく、〇〇しなさいなどとは一言も言わず、私はわがまま放題で、自由気ままに過ごしていました。

ただ行つてはいけないうる危険な場所と仏壇のろうそくやお線香をさわつて火遊びはしてはいけないと言われていました。

しかし、一度だけ興味本位にろうそくで火遊びをした。怖い思いをしました。

火事を起こさなくて本当に良かったし、「肝が冷える」とはこのことだと、思い出したら胸をなでおろします。いまでもその時の様子は鮮明に記憶の中に残っています。

夏の昼は親戚と川で遊んだり、河原で焼肉（バーベキューなんて洒落てはない）をしました。川の水で冷やしてすいか割りもしました。すいかを割るより切つて食べたい派でし

たが、都会育ちのいとこのリクエストと祖母がすいかを植えて育てていたのはそのためだろうと思つていたので、わがままは言いませんでした。海にも行つて浜で焼肉したり、船で沖の浜に連れていってもらい泳いだりもしました。大人が見る高校野球が退屈だったのも覚えています。そしてお昼寝をするので、つられて寝ていました。

夜は縁側に提灯を下げるのもお盆の大切な支度でした。その提灯のきれいな灯りを見ながら花火も楽しかった。夜は蚊帳をつるして、窓や障子を明けて寝ていました。田舎ならではの遊びや生活でした。今ではできないこともあるけれど、お買い物やイベントの記憶より、家族や親戚と過ごした日々の生活が楽しかったことが思い出されます。親戚がこんなに仲が良いのは、戦後の生活の苦労をみんなで乗り越えてきたからかもしれないと感じます。

私が若いころ父は私たち姉妹に「兄弟と仲良くすること。あとは親戚や家族を大切にしろ」とよく言っていました。当たり前のようで忘れがちな私を支える大切なもの、それは家族なんだなとこの原稿を書きながら、家族や親戚の顔を思い出して

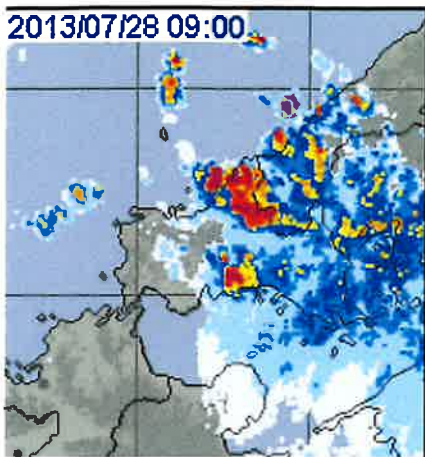


豪雨中いざ須佐を目指して

今まで体験した事のない大雨、一時期激しい雨と雷鳴が続きましたが、午前10時を過ぎると雨も小康状態となりました。弥富支所には、龍神祭りで帰るに帰れなくなった人達が足止めでいっぱいでした。

弥富支所には、M総合事務所長をはじめI次長もこのイベントのために上がっており、帰り道をふさがれたようでした。電話は、かろうじて通じるがネットは遮断されています。

天気がこの後どうなるのか見る



高山上空は濃い雨雲



旧須佐町中央公民館

事すらできない状態の中、かろうじてケーブルテレビのdボタンでどうにか天気を確認することができました。須佐高山上空には、今だに濃い紫の雲が動かない状態です。

何としても須佐に出たいとの思いで、所長、次長のどちらかでも須佐に出ることはできないかと提案したが、まったく返事がありません。次長は、日頃から怖い事が嫌いな性格であるその後で聞くことになるが・・・結局そのI次長と金山谷を下ることとなりました。

弥富支所から上に向かう道は、山からの鉄砲水で舍利が積み重なり、下手をすると尖った石で、タイヤがパンクの恐れ、弥富消防署から上は、金山谷トンネルの土砂崩で、無通行が出来ないとのこと。

急遽ハンドルを平山方面に向け、小川経由で須佐までの道のりを探ることになりましたが、しばらく行くと倒木と土砂で身動きがとれない状態で、元の消防署まであと戻り、

金山谷トンネルの状況を消防署で聞くと、金山谷トンネルの須佐側の出口が土砂崩れで、崩れた土砂が水を堰き止め、トンネル内は池のようになっているとのこと。

トンネルが、通れないとなると、旧道を通ればどうにか須佐に出られないかと考えました。結局案ずるより行動ということになり、まずは、公用車で金山谷トンネルまで行く事になり、消防署員も3名も同行することになりました。



金山谷トンネル内は湖状態

山からの土砂でとても車を走らせるのは困難な状況ですが、背に腹は代えられない緊急事態。金山谷トンネル入口の道路脇に駐車し車のキーは付けたまま放置。

やっと金山谷トンネルの被災状況を確認することができました。たしかにこの状況では、旧道は難しいことが分かりました。確かに、トンネルの出口は封鎖され水に覆われ、目測で1m50cmは浸かっているように見えました。しかし、出口はしつかり見えています。「出口が見えるなら、これなら泳いでも行ける、よしや行こう!」と少し引つ込み思案な次長を引き連れての行動でした。

出口に向かうにつれ、足首から膝、太もも、腰まで水に浸かり、携帯だけは浸からぬように、頭の上に掲げ水飛沫を立て前進しました。

ようやく須佐側の出口に到着、トンネル上部の土砂が崩れ落ち入口を封鎖したことが分かりました。

トンネルを抜けると、今豪雨災害が起きていたことが嘘のように、空からは木漏れ日が差し込むといった天気の変化、まだまだ須佐までは遠い。土砂が流れ出した道路は、歩くのもままならぬ悪路と化していました。この後今まで見たこともない須佐の町の変貌ぶり遭遇するのに4時間超える時間を費やすことになりました。



タモリに負けずわが町を紹介

「ブラタモリ」ならぬ『ぶらぶらタムラが、わが町を紹介します。

今回も前回に引き続き、石州口の戦い大村益次郎が辿った足跡を紹介します。

街道に架かる横田の船橋／益田横田の小木の河原

文献によりますと、慶応2年(1866)6月に長州藩は、北部藩領阿武郡小川村から津和野藩領美濃郡上黒谷村土床関を、そして黒谷村、更に火打岩丸竹や向横田村小木の河原に到着しました。

ここにさしかかり、清末藩や精鋭隊等が参戦のため、同6月16日早朝に横田の広い河原に差し掛かり隊軍は大村益次郎の命令により、隊軍兵を川に飛び込ませ、対岸に泳いでたどりつき、戦場に向かわせました。兵卒達は「まだ戦場は遠いの

に・・・」と不満に思いながら、指揮官の意にしたがって行動しました。そして戦場に進んだ。と記録されています。



益田市横田の船橋

この横田の船橋は、現在の益田市横田の市街地が見える国道9号線に架かる橋で、川幅は約100m位はある大きい川です。

長州藩石見に侵入し、益田多田村扇原(おおぎはら)で戦う

文献によると、大村益次郎らの率いる隊軍は、石見の国の益田多田村扇原に侵入しました。時は同年6月15日と記録されています。そして、その翌日の6月16日に、

浜田藩との戦いがありました。その実践録を見ると、同年6月16日多田村の扇原で、浜田藩の兵士「岸静江(群馬県館林市の松平家に生まれ、本名は国治と言ひ、後に浜田に移り、岸家を継いだ)は、その戦いの応急処置として、多田村庄屋城市安太に命じ、付近の狩人を徴発させ、農兵と合わせて、16人の加勢を得て備えました。

それに対する長州軍は、本家称念寺で休憩食事、休憩後は2手に分かれ、1隊は小俣賀から扇原へ、別の1隊は北の間道を経て小俣賀から多田に向かいました。そして益田村机崎で相合しました。

大村益次郎率いる1,500余名は扇原へ。この時に、関門の通過を求めたが、岸静江は幕命を遵守し、断固通過を拒絶しました。

これにより石州口の戦いの火蓋が切られることとなりました。いかんせん多勢無勢、岸静江は、加勢の農民を逃がし、1人長州軍の前に立ちばばかり、ついには全身に銃弾を浴び、立ったままの姿勢で絶命したと言われています。

彼の戦いぶりに長州軍も感嘆したことから、「岸静江」の埋蔵と石碑建立の費用を拠出し、梅月西禅寺の

住職に、このことを依頼しました。この時の長州隊の総督参謀は大村益次郎でした。

この戦いの地となった、益田市多田村扇原関門の地はゆるやかな勾配のある所で周囲には椎ノ木が繁った薄暗い落葉の積み重なった山道で、その脇には当時を物語る全高約4m位の石碑があり、その石碑には「岸静江戦死之地」と書かれています。



扇ヶ原関門の立て看板

そして、その反対側の路端には小さな館の中に石刻りの仏像が安置されています。

この戦いがあった場所に立っていると、身の引きしまる思いがして、戦いぶりの凄さを想像することが出来ました。



お
駕
ち
ゃ
ん

まちの駐在さん



近頃、自宅の固定電話や私の携帯に【知らない番号】や【「+」プラスで始まる番号】などの相手から電話がかかってくることがあるのですが、こういった番号は、どこからかかってくるのでしょうか？どうしたらよいのでしょうか？

「お答えします」 弥富駐在所:袈裟丸篤史

皆さんも、ご自分の携帯電話などに「+」や「010」からはじまる電話番号から電話がかかってくるいませんか。

この「+」や「010」からはじまる番号は、「国際電話」の番号です。これらの番号を利用したうそ電話詐欺を多発認知しています。在宅時でも留守番電話設定にして電話の相手を確認してから電話に出るようにしましょう。

また、日本国外から英語や中国語などの音声ガイダンスや数コールの呼び出しの後通話が切れる（ワン切り）などの場合もあります。

最近では、これらの電話番号の末尾を「0110」と表示し、警察署からの着信を偽装することもあります。

うそ電話詐欺の被害にあわないための一番の対策は、『知らない電話に出ない』です。

もし、電話に出てしまった場合も

『見えない相手には念には念を』

『変だな、おかしいなと思ったら、すぐ切断』

を心掛けましょう！

また、知らない番号や国際電話の着信履歴が残っていても、こちらからかけ直したりしないでください。高度な通話料やうそ電話詐欺の被害にあう危険性があります。

うそ電話詐欺は日々巧妙化しており、犯人と話してしまうと、日頃どんなに注意をしてもだまされてしまう場合があります。

固定電話やひかり電話では、国際電話の発着信を休止する申込みが無料でできますので、是非、詐欺の電話をブロックする申込みをお願いします。

【お問合せ先】

国際電話不取扱受付センター

0120-210-364



最寄の駐在所や交番、警察署でも申込みの支援を行っています。お気軽にご相談ください。

また、携帯電話でも国際電話を利用した詐欺の電話が多数確認されていますので、各キャリアの迷惑電話対策サービス等をご利用ください。



毎月第3日曜日

(S46.8月の広報すさから…親子でふうせん遊び)

子どもは子どもなりに協力するようにしましょう。遊びにしましても、親子でやる、親子で楽しむ。そのように、すべてが家族一体感で貫かれる。そういうふうになれば、「家庭の日」が要望以上に実行されたと思うのです。(青少年育成県民会議当時の会長、田中晃氏とTYSアナが県庁で放送された中から抜粋)

「家族の仕事に、みんなが力を合わせてやろう」と、子どもは子どもなりに協力するようになります。遊びにしましても、親子でやる、親子で楽しむ。そのように、すべてが家族一体感で貫かれる。そういうふうになれば、「家庭の日」が要望以上に実行されたと思うのです。(青少年育成県民会議当時の会長、田中晃氏とTYSアナが県庁で放送された中から抜粋)

あの頃の須佐は 40年前の須佐を 振り返る…「広報すさ」

「家庭の日」とは

このコーナーは、元氣だった頃の須佐町を「広報すさ」から引用し、住民の皆さんに当時の元氣な姿を届けたいと思います。

「家庭の日」は家族全員が自分の家庭を考えて一体感を持つということができた「家庭の日」ができると思う。アンケートでは「親子団らん」の機会の日が増えたというのは結構なことですが、「家庭や子どもに関心を持つ」というのが非常に大切



まぐさ！

地域おこし協力隊の山本です。みなさま、お世話になっております！

『大阪・関西万博』

6月の中旬、大阪へ行ってきました。目的は息子の顔を両親に見せることと大阪・関西万博へ行くことでした。

万博の展示の中で僕が一番楽しみにしていたのが「インドネシアパビリオン」。というのも、僕は海外旅行が好きで、特にインドネシアが大好きなんです。

ちなみにインドネシアは約1万7千以上の島からなる島国、人口は約2億8千万人で世界第4位、民族が1300もあり、信仰している宗教は87%の方がイスラム教であるものの、キリスト教徒やヒンドゥー教徒も存在しています。(外務省HP等より)



万博会場にて

インドネシアパビリオンではまず、現地の植物の展示が迎えてくれました。他にも各地域で異なる伝統的な武器「クリス(剣)」の展示がとても印象的でした。形や装飾が地域によつて異なり、特殊な霊力が宿るといわれているそうです。現在でも、儀式や踊りを舞う時に正装の男性が腰に差しています。インドネシアは「多様性の中の統一」というスローガンを掲げているのですが、この展示を通して、それを感じられたような気がしました。

また、影絵居「ワヤンクリ」のショームービーでは、伝統芸能が今も人々の心に根づいている様子が伝わってきて、まるで現地を旅しているかのような気分になりました。

万博全体に関しては想像していた倍ほどの人出に驚き、「大屋根リング」も想

像していた倍ほどのスケールで感激しました。あと、めっちゃめっちゃ暑かったためこれから行かれる人は熱中症に気を付けて下さい。

他にもアゼルバイジャンやサウジアラビアのパビリオンに行きましたが、もともと海外旅行が好きで外国に興味がある僕にとつて、世界に触れられるとてもいい経験でした。



ホットックづくりの様子

『韓国カフェタイム』

そんな『世界との出会い』、実はこの須佐地域でも体験できます。僕が毎月開催している「韓国カフェタイム」は、地域の韓国好きのみなさんが気軽に交流できるサロンで、異文化と異世代をつなぐ場です。これから韓国語の先生や留学生をお招きする予定や、韓国と生中継を繋

げたらなとも思っています。

前回の7月の回では、中学生をはじめ、地域の方々20名が集まって、韓国の屋台でおなじみのお菓子「ホットック」を作りました。もちっとした生地の中に、黒糖やナッツを詰めて焼く甘いおやつです。「あつあつでおいしい!」「こんなの初めて知った!」と大好評でした。実際の屋台の様子を動画で見たりもしたので、ホットック作りをきっかけに、韓国の食文化や生活習慣、言葉についても触れることができました。また、調理実習の中で自然と世代を超えた会話が生まれていました。

万博のような大きな国際イベントも、地域の小さな集まりも、どちらも人と文化をつなぐ貴重な機会です。これからも、世界とのつながりを身近に感じられる場づくりを大切にしていきたいと思っています。

「韓国カフェタイム」、8月5日(火)にも開催予定です。ちよつと気になるなという方、ぜひ気軽にのぞいてみてくださいね! 左のQRコードから公式ラインに登録出来ます!

おきに!

韓国カフェタイム
公式ライン



最新情報 配信中
基本月1回
日曜日開催

人権教育啓発作品募集!

- 応募資格 地域内に在住、あるいは通勤・通学者
- 作品内容 人権課題解決への明るい展望を地域住民に呼びかける内容で自由な発想によるもの
- 作品種類 ポスター、作文、詩、標語・短歌、習字
- 応募締切 9月22日(月)

★提出先 須佐総合事務所
市民生活部門 ☎6-2211



《昨年の優秀作品》
「思いやりの
きもちを大切に」
(育英小3年 野村岬希)
※学年は当時の

お

知

ら

せ

第21回萩市美術展 出品者募集!

萩市では「萩市合併20周年記念事業」として、今年も多くの方に作品を募集しています。

各部門別に表彰もあります。

なお作品は、須佐公民館までお持ち込みいただければ、萩明倫学者までお持ち込みいたします。(大きさにもよりますが…)

- 出展期間 10月12日(日)～19日(日)
- 申込締切 9月17日(水)まで
- 作品搬入 9月28日(日)～29日(月)

※申し込みハガキ、パンフレット用紙は、須佐公民館ロビーに設置しています。また、パンフレットに掲載している「QRコード」でもお申し込みが可能です。

★お問合せは、萩市文化・生涯学習課
☎0838-25-3511 まで

あいさつ標語募集!

あなたの身近に心温まる、素敵な「あいさつ」はありませんか?

今年も、皆さんから、素敵な「あいさつ標語」を募集しますので、どしどし応募をお寄せください。お待ちしております。



○応募先

- ・ふるさとづくり協議会事務局
(市民生活部門) ☎6-2211
 - ・弥富支所 ☎8-2211
- ※締切日: 9/12(金)

■ありがとう

まほうの言葉 いいえがお

■「おはよう!」で

背伸びをしよう 笑顔の朝



(昨年度受賞作品から)

盆踊りを楽しもう会 やります!



須佐地区の子ども会では、今年も盆踊りの日に夜店を出店します。内容は、「スーパーボールすくい」「くじ」「焼き鳥」他、盆踊り大会までの時間を縁日でお楽しみいただければ幸いです。

多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

- と き 8月15日(金)
午後5時半～午後7時まで
(盆踊り開始まで)
- 場 所 須佐文化センター玄関前
- その他 各出店は有料

★お問合せ先

須佐公民館(事務局)
☎6-2310



生涯学習作品コーナー

【R6生涯学習発表会から】



生き活き教室の手芸作品

【俳句】

海開き子らの歓声空を舞う

(山根丁東) ゆめはるか

【短歌】

草刈れば強い日差しが背を照らす

顔をつたい落ちる汗のつぶ



猛暑なり日本列島赤く染め

かたや大雨町を渦巻く

(山根丁東) ゆめはるか

朝焼けと同時に始まる汗対策

毎日欠かせぬアイスクリーム

(入江) 緒方恵美子



大塚 均 (1911-1998)

名神高速道路開通記念切手

愛知県小牧インターチェンジを起点とし、岐阜県、滋賀県、京都府、大阪府を經由し兵庫県西宮市の西宮ICへ至る高速道路。略称は名神高速、名神。なお、この名神高速道路の栗東ICと尼崎ICの区間(71.7 km)が昭和38年7月15に開通したことが、日本で最初の高速道路の開通となった。この高速道路開通を記念し、10円切手が販売された。

カバー図案は大塚均52歳時の作品です。

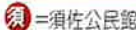
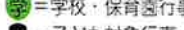
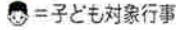
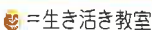
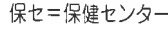


このコーナーでは、切手デザインの大家である大塚均(山根丁東出身)さんがデザインされた約120点の作品を随時紹介しています。

切手カバー図案も合わせてお楽しみ下さい。

須佐の偉人伝 大塚均

101

2025		8月 地域カレンダー		 = 須佐公民館  = 学校・保育園行事  = 子ども対象行事		 = 弥富公民館  = スポーツ関係  = 弥富グラウンド		 = 生き活き教室  保セ=保健センター		
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日				
～今月のスマホ教室～ ★須佐公民館 8/25 (月) 9 : 00～17 : 00 ★弥富公民館 8/28 (木) 9 : 00～12 : 00						1 	2			
3	4  麻雀クラブ 13:00  ピンポンクラブ 13:30	5 	6  つどい会 10:00	7  のびのび教室 「そうめん流し」 (久原園地)9:30	8  手芸クラブ 9:30  囲碁・将棋 13:30	9 				
10 家庭の日	11  山の日	12  弥富一日市長室 9:00 ロビーコンサート 11:00 ■心配ごと相談(保セ) 9:30	13 	14 ■弥富盆踊り大会 19:00 ■鈴野川盆踊り大会 19:30	15  須佐地区ソフトボール大会 8:30 ■須佐盆踊り大会 19:00	16				
17 	18  麻雀クラブ 13:00  ピンポンクラブ 13:30	19  弥富元気クラブ 9:30  あおば勉強室 13:30	20	21  生き活き体操 8:45  子ども会 9:00	22  手芸クラブ 9:30  囲碁・将棋 13:30  子ども会 9:00	23  須佐中親子ふれあい奉仕作業				
24  育英小親子作業	25  エコクラフト 9:30  麻雀クラブ 13:00  ピンポン・ポッチャ 13:30	26  須佐保お祭りごっこ  放課後子ども教室 9:00	27  GGを楽しむ会 9:30  音楽療法 13:30	28	29	30	★午後1時から、高校生が考えるお祭りが開催されます。詳しくは、今月の回覧をご覧ください。多くの皆さんのご来場・応募をお待ちしています。 			
31										

熱中症対策を
 こまめに水分補給をしま
 しょう。
 エアコンなどを使って、
 涼しく過ごしましょう。



須佐公民館へ集合
 〇ところ 平山台(小川梨農園)
 〇参加費 500円(入園料)
 〇申込み 9月10日(水)まで
 に須佐公民館へ

須佐さつき学級
 「なし狩りに行こう!」
 〇とき 9月18日(火)
 午前9時



須佐あおば勉強室
 「マネー講座③
 投資と金融トラブル」
 〇とき 8月19日(火)
 午後1時30分から
 〇ところ 須佐公民館
 〇講師 J-FLIC
 渡邊恵子
 〇申込み 8月12日(火)まで
 に須佐公民館⑥2310へ

伝言板



毎月第3日曜日は「家庭の日」
 今月は「17日」です
 ★家族みんなで過ごしましょう!

須佐地域の人口 (R7.6月末現在)			
	世帯数	人口	前月比
須佐	920戸	1,614人	(△1人)
弥富	210戸	386人	(△1人)
合計	1,130戸	2,000人	(△2人)
昨年比	世帯数△24人		人数△75人

編集後記
 このところ「暑い!」とい
 う言葉がよく耳に入ってきます
 が、北海道では異例の暑さとな
 っている今日。これも「温暖
 化」の現象なのでしょう。か
 テレビのニュースでは、毎
 日、熱中症で〇人が救急車で運
 ばれ、〇人が亡くなるというた
 ことが放送されています。
 また、夏休みに入ってから、
 水の事故も増えているよう
 す。高齢者だけでなく、子ども
 達の健康や遊び方にも大人が
 気を付け、子ども達にとって長
 い夏休みを、楽しいものにして
 あげられればいいかなと思いま
 す。
 E・O